



KABANET



Facebook



LINE



Twitter



Blog

暮らしの相談
検索システム

発行日:令和3年10月27日(No.028)

発行所:トヨタ自動車労働組合

発行人:鬼頭 圭介

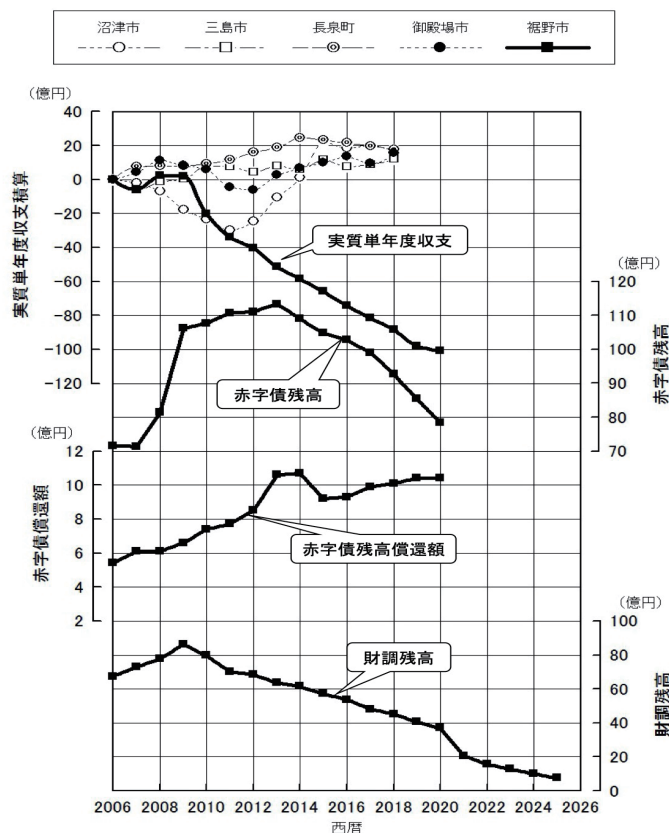
編集人:井出 悟

印刷所:㈱トヨタエンタプライズ共栄カンパニー



討議資料

「選択と集中」＝将来に負担の先送りをしない決意と覚悟を示す



裾野市は令和3年2月に「財政非常事態宣言」を発出しました。これまで繰り返し行財政構造の脆弱さを指摘し続けてきましたので「来るべくして来た」と受け止めています。しかし大切なことは、財政非常事態宣言をしたということは、「選択と集中」をする決意と覚悟も共に示さなければならないということだと思います。

現時点では「選択と集中」の詳細は示されていませんが、このような状況が続くことは、市民も「負」の創造性が発揮されてしまいます…(悲) 心強いことに「この財政非常事態に出来ることは何か？」と声をかけてくれる方も多いですが、冒頭には「なぜ財政非常事態となったの？」と必ず聞かれます。

病院での治療と全く同じだと思いますが、病名は何で、原因は何で、治療方法はどのようにする、など病気に立ち向かうためのプラン作りを医師と一緒に組み立てると思います。現在、「財政構造を抜本的に改革する」と銘打っていますが、依然、行政の仕事の進め方は旧態の「決まったことを知らせる」との枠から出ようとしていません。

抜本的な構造と意識の改革のためにも、仕事の進め方そのものを変容させるためのシツコイ取り組みが続きます。

報告① 暮らしの相談オンライン de トーク「さとの部屋」はじまります

コロナ禍によって、暮らしの相談活動も大きく変わりました。そこで10月より、Zoomを活用した定期的なオンラインでの暮らしの相談会を積極的に取り組みます。ご自宅からご家族と一緒にご参加頂くこともできますので、ご家族の声もお聞かせ頂けると嬉しいです。

テーマを都度変えながら、オンラインの強みを活かし、リラックスした雰囲気や環境の中でトークが出来るよう工夫をしていきます。裾野市の課題に対する考えなどもお話しし、皆さまのお考えをお伺いしながら、働く仲間に必要な政策の実現につなげていきます。

従来の相談シートによる「シート de ソウダン」、個別相談「オンライン de サロン」も随時対応しています。お気軽にお声掛けください。

東富士支部

暮らしの相談
シート de ソウダン

東富士支部

暮らしの相談
オンライン de サロン

東富士支部

暮らしの相談
オンライン de トーク

【従来より】
希望者はお近くの評議員・職場委員へ
シートを記入して相談できます！

【2020年3月開設】
希望者はお近くの評議員・
職場委員へもしくはNETでお申し込み
Zoomで個別のお話ができます！

【2020年10月～開設】
評議員・職場委員
・組合員との相談
話せてないな～！

今期は多くの方と話せるよう、活動方法を見直します！

報告② 一般質問) 赤字債による将来負担に対する市長の考えは

赤字債の残高は 85 億円と全地方債残高の 192 億円の約 45%に達しています。また赤字債の年間返済額は約 10 億円で、全地方債の年間返済額は約 21 億円の 49%に達しています。赤字債を活用する上で重要なのは、裾野市の財政力が 1.0 以上か、未満かを単年度で捉えるのではなく、赤字債を返済する将来にわたって考えることが必要です。特に選択が微妙に分かれるのは、財政力が年度によって 1.0 前後の地方自治体であり、裾野市がまさにこれに当たります。財政力が 1.0 を超えた場合は、返済は全て市の持ち出しとなることから、財政力を長期的に見極めることが求められています。

質 平成 13 年度から 20 年間導入されている赤字債の返済期間中に、財政力が 1.0 を上回り、市が持ち出して返済した回数と返済額は。

答 市が持ち出して返済した回数は 14 回で、返済額は 27 億 744 万 1,000 円となった。

質 財政非常事態宣言を発出するに至った財政構造は、削減できない義務的経費のうち、高まり続けている借金返済、それも赤字債の返済がより厳しくしており、過去の政策維持のための赤字債の返済が将来の予算編成に多大な影響を与えている。

赤字債に頼らないよう行財政構造改革をもっと踏み込み、徹底的に事業を取捨選択し、過去の政策から将来投資への転換が重要だと考えるが、市長の考えは。

答 財政非常事態を克服する行財政構造改革の詳細は、今まさに取りまとめているところ。お示しする計画は、令和 9 年度には収支が均衡できる計画としてお示ししなければならない。その中身は、公共施設の総量管理として、小中学校の統合など、かなりの市民に影響が及ぶ内容が盛り込まれて来る。

そこで、市長の任期中というよりも、行財政構造改革の内容を市民の選択肢として、未来をつかむために必要最低限というか、最大限の努力、行財政構造改革をして持続発展的な裾野市を取り戻す、ピンチをチャンスに変える方向を示し、選挙を迎えたいと考えている。

行財政構造改革の計画の中身は、任期中に予算編成を進めていく。令和 4 年度以降に市民へ選択肢として示すので、それにより中身をご理解をいただきたい。

報告③ 「カーボンニュートラルシティ宣言」を発出

温室効果ガス「ゼロ」宣言 50 年目標

裾野市の高村謙二市長は 5 日の市議会全員協議会で、2050 年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す「カーボンニュートラルシティ」を宣言した。脱炭素社会実現に向けた環境省の呼び掛けに応じ、再生可能エネルギーの普及や省エネの推進などに取り組む。本年度から 5 年間の

市環境基本計画に基づき、温室効果ガスの排出抑制などを図る。計画では、二酸化炭素(CO₂)排出量を 13 年度比で 90%削減することを目指した。実現に向けては、公共施設や工場・オフィス、家庭での省エネ推進▽環境負荷の少ない交通の普及▽6Rの推進とごみの適正処理――

高村市長は「脱炭素社会の実現は社会全体で取り組む課題。豊かな自然環境、文化を将来に引き継ぐため、地球温暖化対策に取り組むと決意を込めた」と述べた。

高村市長は「脱炭素社会の実現は社会全体で取り組む課題。豊かな自然環境、文化を将来に引き継ぐため、地球温暖化対策に取り組むと決意を込めた」と述べた。

今年、裾野市は市政 50 周年という大きな節目を迎えます。諸先輩方のたゆまぬ努力によって築かれた裾野市です。様々な困難があっても、裾野市を次の世代に伝承していくことは、ワタシを含む今の大人たちの重要な使命です。

50 年前に諸先輩方が裾野市の明るい未来のためにチャレンジし続けたことによって、今の裾野市があります。カーボンニュートラルも社会全体で取り組む、未来への大きなチャレンジです。

行財政構造改革の取り組みも同様で、宣言によって人々に希望を与え、明日の行動変容への道標とならなければなりません。

編集後期)

ウーブンシティ建設の進捗や、JR 岩波駅周辺整備の取り組みは、市民に対し未来への希望となることが大切です。

カーボンニュートラルの取り組みもそうですが、未来への挑戦に対する決意や覚悟を示す言葉に魂を入れることが、一枚岩で取り組むための大前提だと思います。

